

10 参加申し込み及び弁当について

【参加券の申し込み方法及び申込先】

- 参加資料代 1,500円（討議資料代・記録集代）
- 各市町村、学校、企業、関係機関等でまとめていただき、下欄の申込書にご記入の上、大会前（7月31日（水）まで）に参加券を購入してください。当日も受け付けますが、できるだけ事前購入をお願いします。（個人の申込も同様です。）  
申込先：第44回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会実行委員会事務局（鳥取県人権教育推進協議会事務局）  
〒680-0846 鳥取市扇町21 県立人権ひろば21ふらっと内 TEL 0857-22-0578 FAX 0857-22-0593
- 代金は、振り込み（手数料は自己負担）、現金書留（返信用封筒（切手貼付）同封のこと）または直接持参でお願いします。

【弁当申し込みについて】

- 弁当代 800円（予約のみで、当日販売はありません）
- 各市町村、学校、企業等でまとめていただき、下記業者へ7月31日（水）までに FAX で申し込んでください。（「弁当申込書」は鳥取県人権教育推進協議会のホームページ「第44回開催要項」の中に掲載しております）  
弁当業者：株式会社 アベ鳥取堂 TEL 0857-26-1311 FAX 0857-24-4280
- 代金の支払い方法、弁当券の返送等については、直接業者と相談してください。

11 その他

- 障がい等で、駐車場・介助・案内・手話通訳などが必要な場合は、あらかじめ研究集会実行委員会事務局にお知らせください。
- 託児をご希望の場合は、7月25日（木）までに下記にご連絡ください。（人数等により、お断りする場合があります）

◎事務局所在地

研究集会実行委員会

〒680-0846 鳥取市扇町21 県立人権ひろば21 ふらっと内  
鳥取県人権教育推進協議会事務局 TEL 0857-22-0578 FAX 0857-22-0593

開催地実行委員会

〒682-8611 倉吉市葵町722  
倉吉市企画産業部人権政策課 TEL 0858-22-8130 FAX 0858-22-8135

大会当日事務局

〒680-0017 倉吉市駄経寺町212-5  
県立倉吉未来中心（大会用臨時電話を準備）

- ※ 本研究集会はクールビズ対応で開催します。
- ※ 台風、地震等のために大会が中止になる場合は、県人教ホームページに掲載すると共に、各市町村人・同推協事務局等にメール等で連絡します。
- ※ 県人教ホームページ：<http://torikenjinkyou.sakura.ne.jp/>

託児あり  
(要予約)

# ＜開催要項＞ 第44回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会

主催 鳥取県人権教育推進協議会  
第44回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会実行委員会

## ご案内

人権が尊重される社会の実現に向けて、日々ご努力いただいている県民の皆様にご心から感謝の意を表します。  
1974（昭和49）年、部落問題の解決を全県民の力で成し遂げようとの願いから出発した本研究集会は、回を重ねる中で部落問題をはじめ様々な人権問題に気づき、それを解決しようとする広がりや深まりを持った集会へと発展してきました。

これまでの成果をもとに本年も新たな取り組みをしていかなければなりません。本研究集会の一層の充実と発展をめざし「第44回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」を開催します。

社会に存在する具体的な人権問題について県内各地域における実践を持ち寄って交流しましょう。そして自らの問題として話し合いを深め互いの実践の成果に学び合う研究集会にしていきましょう。

私たち県民の研究集会として、多くの皆様の参加をお願いします。

1 目的 本研究集会は、今日まで積み上げてきた差別の現実から深く学ぶ実践・交流の成果を踏まえ、部落差別をはじめあらゆる差別をなくし、人権尊重社会の実現に向けて、全県民を対象とした集会として開催します。

2 テーマ 「人権尊重社会の実現に向けて、研究と実践を交流しよう」

3 期日 2019（令和元）年 8月8日（木）

4 会場 全体会（午前）：メイン会場 県立倉吉未来中心 大ホール  
サブ会場 県立倉吉未来中心 ①小ホール ②セミナールーム3（映像を放映）  
分科会（午後）：県立倉吉未来中心 大ホール 他7会場

要約筆記、手話通訳が  
あります

5 日程	9:00	9:45	12:00	13:15	16:00
	受付	全体会 (開会行事・基調提案・講演)	昼食・休憩・移動	分科会	閉会

6 講演 演題 「どんな性の在り方も排除されない園・学校・職場・地域とは？」  
～子どもたちとの出会いから見えてきたこと～

講師 にじいろ i-Ru（アイル） 田中 一步さん 近藤 孝子さん

7 後援 鳥取県 鳥取県議会 鳥取県教育委員会 倉吉市 倉吉市教育委員会 湯梨浜町 湯梨浜町教育委員会 三朝町 三朝町教育委員会 北栄町 北栄町教育委員会 琴浦町 琴浦町教育委員会 鳥取県市長会 鳥取県町村会 鳥取県市議会議長会 鳥取県町村議会議長会 鳥取県市町村教育委員会研究協議会 公益社団法人鳥取県人権文化センター 鳥取県同和对策協議会 部落解放同盟鳥取県連合会 部落解放・人権政策確立要求鳥取県実行委員会 鳥取県子ども家庭育み協会 鳥取県国公立幼稚園・こども園長会 鳥取県私立幼稚園・認定こども園協会 鳥取県人権保育連絡会 鳥取県小学校長会 鳥取県中学校長会 鳥取県高等学校長協会 鳥取県私立中学高等学校長会 鳥取県特別支援学校長会 鳥取県 PTA 協議会 鳥取県高等学校 PTA 連合会 国立大学法人鳥取大学 公立大学法人公立鳥取環境大学 鳥取看護大学・鳥取短期大学 鳥取県公民館連合会 鳥取県隣保館連絡協議会 鳥取県児童館連絡協議会 鳥取県連合青年団 鳥取県連合婦人会 社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会 社会福祉法人鳥取県身体障害者福祉協会 鳥取県精神障害者家族会連合会 一般社団法人鳥取県手をつなぐ育成会 日本労働組合総連合会鳥取県連合会 鳥取県教職員組合 鳥取県高等学校教職員組合 鳥取県職員連合労働組合 自治労鳥取県本部 部落解放鳥取県共闘会議 一般社団法人鳥取県経営者協会 鳥取県商工会議所連合会 鳥取県商工会連合会 鳥取県中小企業団体中央会 公益社団法人鳥取青年会議所 鳥取県農業協同組合中央会 一般社団法人鳥取県建設業協会 一般社団法人鳥取県東部建設業協会 鳥取市人権啓発企業連絡会 倉吉市人権啓発企業連絡会 米子市人権問題企業連絡会 鳥取県在日外国人教育研究会連絡会 鳥取県男女共同参画推進会議（株）新日本海新聞社 山陰中央新報鳥取総局 朝日新聞鳥取総局 産経新聞鳥取支局 毎日新聞鳥取支局 読売新聞鳥取支局 中国新聞鳥取支局 NHK 鳥取放送局 日本海テレビ T S K 山陰中央テレビ BSS 山陰放送 エフエム山陰 テレビ朝日鳥取支局 時事通信社鳥取支局 日本海ケーブルネットワーク株式会社 株式会社中海テレビ放送

8 駐車場 駐車場の数が不足しております。公共交通機関等を利用し、エコな大会にしましょう。

◎全体会場

①倉吉未来中心

(臨時駐車場)

②上灘小学校校庭（未来中心の東、約300M）

◎分科会場

①倉吉未来中心 ②上灘公民館 ③倉吉体育文化会館

④三朝町総合文化ホール 各会場駐車場



### 第44回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会

## 参加券申込書

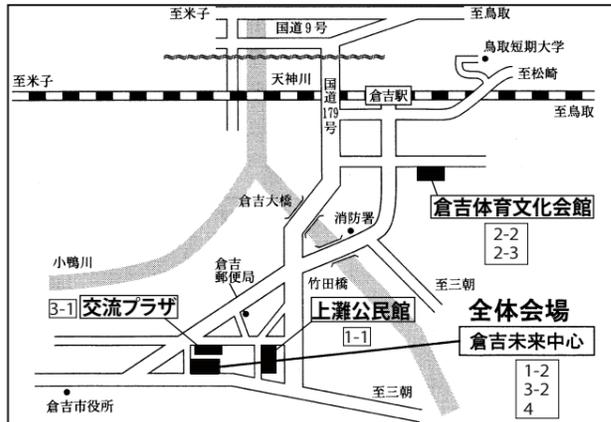
市町村及び団体名	TEL - - FAX - -								申込数	参加券			
										枚			
住所（所在地）	〒								金額	(1,500円× 枚)			
										円			
申し込み責任者													
分科会（分散会）参加予定人数	1（人権文化社会の創造）		2（就学前・学校教育の創造）			3（様々な人権課題）		4（学習講座）					
	1	2	1	2	3	1	2	未来中心 セミナー3					
	上灘公民館	未来小ホール	三朝町ホール	倉体文 大研	倉体文 中研	交流プラザ	未来大ホール						

- ※ 参加分科会の人数欄は、会場の諸準備をする上でおよその人数把握しておくためです。予定で構いませんのでご記入をお願いします。
- ※ 障がいのある方への配慮、託児等で特別に要望がありましたら、下欄に記入して研究集会実行委員会事務局へお知らせください。（ ）

## 9 分科会（分散会） 構成一覧表

分科会名	①（人権文化社会の創造）		②（就学前・学校教育の創造）			③（共生社会の創造）		④（学習講座・入門講座）
討議の視点	○ すべての人の人権が尊重される地域づくり、社会づくりをどのように進めていくか。 ○ 社会教育関係団体・企業・行政等での人権学習・啓発をどのように進めていくか。		○ 子どもに向き合う人権教育・保育をどのように進めていくか。 ○ 一人ひとりの子どもの進路保障にどのように取り組んでいくか。 ○ 子どもたちの仲間づくりや自主活動をどのように進めていくか。			○ さまざまな人権課題を明らかにし、その解決と共生社会の実現に向けて、県民（NPO等市民団体）がどのように取り組んでいくか。 ○ 同和問題やさまざまな人権課題の解決に向けて、県民（NPO等市民団体）が関係機関とどのように連携を深めていくか。		○ 同和問題をはじめさまざまな人権問題に対する基本的な認識や考え方を深め、解決に向けた運動や取り組みにどのように生かしていくか。
分散会	① 企業・社会教育関係団体	② 市町村人推協・自主活動団体	① 就学前・小学校	② 児童館・小学校	③ 中学校・高等学校	① あらゆる人権課題Ⅰ（同和問題）	② あらゆる人権課題Ⅱ	
会場	倉吉市上灘公民館 会議室1・2	県立倉吉未来中心 小ホール	三朝町総合文化ホール	倉吉体育文化会館 大研修室	倉吉体育文化会館 中研修室	倉吉交流プラザ 視聴覚ホール	県立倉吉未来中心 大ホール	県立倉吉未来中心 セミナールーム3
報告者 (依頼機関・団体)	牧野 政人 (倉吉市人権啓発企業連絡会中国電力)	谷口 満夫 小谷 公彦 (鳥取市 国英地区人権啓発推進協議会)	津村 やよい (若桜町立わかさこども園)	岡田 貢 西山 依世 (大山町中高児童館)	中尾 祐之 (倉吉市立鴨川中学校)	松本 美恵子 (あたごふれあい人権文化センター)	<さまざまな人権課題> にじいろ i-Ru (アイル) 田中 一步さん 近藤 孝子さん	つながることから始めよう ～市民活動が創る人権尊重社会～
報告題	「中国電力の人権啓発の取り組みについて～反省を教訓に取り組みを充実～」	「人権尊重の明るい国英をめざして」	「いきいきとかがやく わかさこ～S児を通して～」	「人を大切に～なまづく～」	「わかりあい 仲間の輪をつくる生徒の育成」	「♥の中にハート型の種が入っています～地域に人権文化の花をいっぱい咲かせたい～」	演題「じぶん、まる！～『あたりまえ』『ぶつ』ってなんだろう？性の多様性から子どもたちと考える～」	私たちの社会には、様々な生きづらさを抱えながら暮らしている人々がいます。一人ひとりの人権が十分には保障されていない、ということかもしれません。これらの生きづらさの中には、人と人がつながり、支え合うことで、随分と和らいでいくものもあるのではないのでしょうか。市民活動における取り組みを紹介するとともに、人権尊重社会をどのように築いていくか考えてみたいと思います。
報告内容の概要	当社では、企業の立場で同和問題の解消を目指して社内教育等を行ってきました。その過程では反省することもありましたが、それを教訓に現在ではあらゆる差別の解消に向けて取り組みを充実させていることを報告します。	人権を尊重した差別のない明るいまちづくりの推進を目的として平成19年4月に設立された人権啓発推進協議会の活動について、身近な人権問題をテーマとして開催してきた小地域懇談会を中心に報告します。	一人ひとりが安心して園生活を送る中で、自信を持ち、前向きに様々な事へ取り組める子どもを目指しています。子どもの自尊感情を育むために保護者と職員が共に支え合いつなげていくための取組を報告します。	子どもたちは、様々な人たちとの係わりの中で、たくましく生きる力と仲間づくりの大切さを学んできましたが、保護者会が活動を休止したため、様々な行事を行うことが困難になりました。そんな中、子どもたちが・・・。	本校のめざす生徒像の1つである「わかりあい 仲間の輪を作る生徒」の育成に対する具体的な取り組みと、成果と課題について報告します。	当センターの特色ある事業の一つは、就学前の取り組みです。これを解放子ども会や学習会、高同研へ繋げ、幼少期からの差別のない地域づくりを目指しています。関連機関と連携し、児童達が互いの人権を大切にすることを育てる活動を地域全体へ広げる様子と、困難や課題を併せて紹介します。	鳥取県聴覚障害者協会事務局長 戸羽 伸一さん 演題「ろう者の人権を考える」	【コーディネーター】 (公社)鳥取県人権文化センター 専任研究員 中尾 和則
報告者 (依頼機関・団体)	大柄 瑞穂 (日南町 上三栄自治会)	佐伯 孝代 (倉吉市 高城地区同和教育推進協議会)	河上 英仁 船越 康裕 (南部町立西伯小学校)	永見 幸久 (岩美町立岩美北小学校)	清山 寿文 (鳥取県立米子南高等学校)	前田 寿光 (部落解放同盟倉吉市協議会)	【スピーカー】 災害支援ネットワークNPO かけはし 理事 奥村 由美さん 認定NPO法人ハーモニカレッジ 理事長 大堀 貴士さん 産後ケア やわらかい風 代表 川口 映子さん	
報告題	「しなやかに差別社会に抗った田中儀太郎と出井富五郎の歩みを紙芝居にして」	「部落差別解消推進法の周知を目指した同和教育町内学習会の取り組み」	「自分とつなげる、仲間とつながる人権学習をめざして」	「ともに歩む今を～いのちの輝きを感じながら、仲間として、チームとして～」	「『参加型』学習の取り組み～『主体的に学ぶ』人権教育を目指して～」	「『部落解放への実践を引き継いで』～先人の足跡に学び直しその熱と光にふれて～」	ろう者とは「耳がきこえない」と普段のコミュニケーション方法は「手話言語」を使う人たちのことを言います。そのため、きこえる人と会話ができない、理解されにくいなど課題があります。ろう者にとって「手話は命」。ろう者の人権とは何か？と考えるきっかけとなって、手話言語の普及に繋がりたいと思います。	
報告内容の概要	部落の子達が20年経っても小学校に入学できない現実を前にして奔走した二人。地区の子をわが子として入学の夢を果たした田中儀太郎と青年教師出井富五郎。彼らの歩みを紙芝居にした自治会の取り組み。	同和教育町内学習会の取り組みを続ける中での推進員及び参加者の変化と、部落差別解消推進法の周知が広く求められる中、全戸配布資料の作成やパワーポイント・紙芝居等により実現できた取り組みを報告します。	西伯小学校は人権教育のカリキュラムの見直しを毎年行っています。人権について主体的に追求することをめざした6年生の人権フォーラムで、自らの発達障害のことを調べ、友だちに紹介したAさんの姿を紹介します。	岩美北小学校では、校歌の歌詞の一節にもある「いのちの輝き」を大切にしながら、毎日の学校生活を送っています。今回の発表では、本校の取り組みと2017年度の第6学年の実践を中心に報告します。	平成29年3月、「鳥取県人権教育基本方針第2次改訂」が策定されました。その力点は、「参加型」学習の重要性や「差別の現実から深く学ぶ」ことの大切さに置かれています。この2点を指針として、1年間にわたり学校全体で取り組んだ成果と課題を報告します。	先人たちを動かした部落解放運動の熱と光は、現代の私たちに何を伝えてきたのか。そして、部落差別の悲惨な実態を目の当たりに解放への展望をどう切り拓いてきたのかなど検証し、新たな時代を迎えた今日の部落解放運動を創造します。	Sun-in 台湾人会会長 川口(呉) 斐斐さん 演題「ことば(母語)と文化」 日本語を母語としない外国人が日本で生活するためには、まず、「言葉の壁」を乗り越えなければなりません。日本における外国人の経験を踏まえ、言葉・文化の違いによるコミュニケーションの難しさ・面白さなどを紹介します。	
司会者 (2名)	寺谷 雅司 (倉吉市人権啓発企業連絡会中国電力) 吉岡 悟志 (湯梨浜町人権教育推進協議会)	上口 俊一 (倉吉市人権文化センター) 植垣 郁子 (鳥取市人権推進課)	沖島 美由紀 (鳥取県人権保育連絡会) 小山 邦将 (鳥取市人権推進課)	松田 博明 (鳥取県児童館連絡協議会) 升田 弘法 (岩美町教育委員会)	田中 弘人 (鳥取県高等学校人権教育研究会) 平尾 和幸 (鳥取市人権推進課)	河井 園子 (鳥取県隣保館連絡協議会) 森 亜紀子 (部落解放同盟鳥取県連合会)	進行 佐藤 淳子	
研究推進委員 (2名)	津川 俊仁 (部落解放同盟鳥取県連合会) 加持谷 典範 (江府町人権・同和教育推進協議会)	衣笠 尚貴 (鳥取市人権情報センター) 寺谷 孝志 (鳥取県教育委員会人権教育課)	山下 千之 (鳥取県人権保育連絡会) 松井 貴宏 (鳥取県教育委員会人権教育課)	山田 美知子 (鳥取県児童館連絡協議会) 山本 裕児 (鳥取県教育委員会人権教育課)	西村 みどり (鳥取県高等学校人権教育研究会) 本庄 大志 (鳥取県教育委員会人権教育課)	中江 人美 (鳥取県隣保館連絡協議会) 大森 英一 (部落解放同盟鳥取県連合会)		
運営委員 (2名)	杉山 大蔵 若松 雅子	山本 登 高山 浩太郎	常藤 充博 村岡 亜樹	会見 祐子 盛山 修	西村 敦郎 堀内 誠	金谷 達美 黒見 恭成	石田 重幸	尾崎 真理子
会場担当市町村	倉吉市	琴浦町	三朝町	北栄町	湯梨浜町	琴浦町	倉吉市	湯梨浜町

倉吉会場  
(未来中心・交流プラザ・上灘公民館・倉吉体育文化会館)



三朝会場 (三朝町総合文化ホール)



倉吉体育文化会館・三朝町総合文化ホールへは倉吉未来中心より12:30にマイクロバスが出ます

- 倉吉未来中心 (TEL 0858-23-5390)  
小ホール・・・(全体会) 1の2  
大ホール・・・全体会 3の2  
セミナールーム3・・・(全体会) 4
- 倉吉交流プラザ (TEL 0858-47-1181)  
視聴覚ホール・・・3の1
- 上灘公民館 (TEL 0858-22-0640)  
会議室1,2・・・1の1
- 倉吉体育文化会館 (TEL 0858-26-4441)  
大研修室・・・2の2  
中研修室・・・2の3
- 三朝町総合文化ホール (TEL 0858-43-3512)  
大ホール・・・2の1